

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 地方創生に向けた諸事業との連動性について (25分)</p> <p>全国的な人口減少、少子高齢化が進む中、社会経済に追い打ちをかけるように、新型コロナウイルス感染症予防対策のための人流の抑制などにより、社会全体において活気がなくなってきております。</p> <p>本市においても、地域経済や地域コミュニティなどに大きな影響が出ております。</p> <p>しかしながら、こうした時こそ、ピンチをチャンスに変えるべく、元気で、活気に満ち溢れた鶴ヶ島市にしていく政策の展開こそが、今、一番求められていることではないでしょうか。</p> <p>齊藤市長2期目の公約の目玉として、(仮称)「Nゲージとガーデンパーク」構想や仮称「つるの駅」構想が、事業化に向けて取組が始まります。</p> <p>人の流れを作る事業であり、鶴ヶ島駅から株式会社関水金属に至る導線やフルインター化される圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺の活性化に向けた起爆剤として、期待されます。</p> <p>本市の目指す地方創生に向けて、こうした起爆剂的な事業を、単発ではなく、他の事業とも連動性をもって実施していくことによって、より大きく実る果実として、まちづくりの成果が出てくるものと思います。</p> <p>こうしたことから、以下の他の諸事業との連動性について質問いたします。</p> <p>(1) 政策的視点から見た地域経済の活性化対策について (2) 人口減少対策について (3) 持続可能な発展に向けた政策について</p>	市長
<p>2 藤金地区地区計画及び藤金土地地区画整理事業の進捗について (10分)</p> <p>令和3年3月25日付けで都市計画変更がなされた藤金地区地</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>区計画及び藤金土地区画整理事業の進捗状況と今後について、以下質問いたします。</p> <p>(1) 地区計画区域の事業の進捗状況について (2) 土地区画整理事業区域の事業の進捗状況について (3) 事業着手後における地権者及び地域住民からの声について (4) 旧学校給食センター跡地の今後について</p> <p>3 行政と市民ボランティアの連携、協働について (25分)</p> <p>多様化、増大する行政課題に対し、行政改革による職員削減が進む中で、市民と連携し、ボランティアとの協働によるまちづくりは、これから更に重要度を増すものと考えます。</p> <p>地域支え合い協議会や自治会など地域コミュニティによる地域防災や学校と連携した登下校の見守り、子どもの居場所づくりとしての放課後こども教室。また、各地域における歩道花壇の植栽や草刈り、美化清掃など、地域福祉、防犯防災、環境保全など多岐にわたって、市民ボランティア活動が広がりをみせています。</p> <p>地域の課題や問題点を身近によく知る地域住民、そこから成り立つ市民ボランティアの方々との連携、協働は、市が行政課題に対処していく上で、効率的であるだけでなく、地域における多世代交流など地域の絆づくり、仲間づくりやまちづくりに参加することによる郷土意識の醸成にもつながっていくものと考えます。</p> <p>こうしたことを踏まえて、以下質問いたします。</p> <p>(1) 行政課題と市民ボランティアの活動について (2) 市民ボランティアの育成について (3) 市民ボランティアの支援体制について (4) 鶴ヶ島グリーンパークの太田ヶ谷の森や鶴ヶ丘児童公園のイングリッシュガーデンにおけるボランティアとの連携、協働の促進について</p>	<p>答弁を求める者</p> <p>市長 教育委員会教育長</p>